

IV 調査票様式等

平成27年国民健康・栄養調査
身体状況調査票

調査票番号: []-[]-[]-[]-[]-[]
 性別: [] 男 [] 女
 年齢: [] [] [] [] (平成27年11月1日現在)

【身体計測】
 (1) 身長 (5歳以上) [] [] [] [] cm
 (2) 体重 (15歳以上) [] [] [] [] kg
 (3) 首囲 (16歳以上) (へその上) [] [] [] [] cm
 計測方法
 ① 測定者が測定
 ② 測定者が引取 (自己申告)

【4】 血圧 (20歳以上)
 1回目 収縮期(最高) [] [] [] mmHg 拡張期(最低) [] [] [] mmHg
 2回目 収縮期(最高) [] [] [] mmHg 拡張期(最低) [] [] [] mmHg

【5】 血圧検査実施の有無 (20歳以上)
 (検査票には記載しない)
 1 有 2 無
 []

【閉経】 (20歳以上)
 (6) 現在、aからの薬の使用の有無
 (a) 血圧を下げる薬 有・無
 (b) 脂の乱れを治す薬 有・無
 (c) インスリン注射または血糖を下げる薬 有・無
 (d) コレステロールを下げる薬 有・無
 (e) 中性脂肪 (トリグリセリド) を下げる薬 有・無
 (f) 貧血治療のための薬 (鉄剤) 有・無
 (7) これまでに医師診断や検査で糖尿病といわれたことがある (「糖尿病」である)、「糖尿病の疑いがある」「糖尿病にならないうえに」「血糖値が高い」などのようにいわれたことも含む)
 1 有 2 無 (8)へ
 (7-1) 現在、糖尿病治療の有無 (治療による定期的な検査や生活習慣の改善指導を含む)
 1 有 2 無
 (8) 現在、医師等からの運動[※]禁止の有無
 1 有 2 無
 (9) 運動[※]習慣 (運動等から運動を禁止されている(8)で「1有」と回答した)者は記載不要
 (a) 1週間の運動日数 [] 日
 (b) 運動を行う日の平均運動時間 [] [] 時間
 (c) 運動の継続年数
 1 1年未満 2 1年以上

※運動とは、スポーツやウォーキングなどの健康増進に役立つ目的・効果を目的として、計画的・定期的に行うもの。

厚生労働省

血液検査項目

1	血色素量
2	ヘマトクリット値
3	赤血球数
4	白血球数
5	血小板数
6	血糖値
7	ヘモグロビンA _{1c}
8	総コレステロール
9	HDL-コレステロール
10	LDL-コレステロール
11	中性脂肪 (トリグリセリド)
12	総たんぱく質
13	アルブミン
14	クレアチニン
15	血清鉄
16	TIBC (総鉄結合能)
17	AST (GOT)
18	ALT (GPT)
19	γ-GT (γ-GTP)
20	尿酸

栄養摂取状況調査票の書き方

- ①本書をご覧の上、「栄養摂取状況調査票」に黒鉛筆で記入してください。
 - ②記入方法について、わからないことがありましたら、調査員に質問してください。
 - ③この調査は、法律に基づいて実施するものであり、調査によってわかった食生活の内容などの秘密保持については、ご迷惑をおかけすることのないよう、厳守いたします。
- ～ご協力よろしくお願ひ申し上げます～

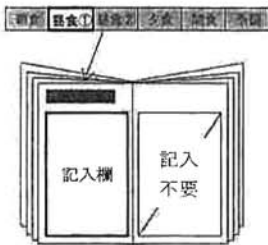
【1】世帯状況（1ページ）の書き方

まず、ご家族全員の氏名、生年月日、性別、世帯主との続柄、妊娠・授乳の状況（している場合）、お仕事の種類を記入ください（仕事の種類は別表参照）。※1歳未満の乳児については記入する必要はありません。
（▲平成 27 年 11 月 1 日現在の年齢が 1 歳未満の場合）

世帯主	氏名	生年月日	性別	続柄	就業状況	就業の種類
01	江世帯主	1945.10.10	男	世帯主	就業している	会社員
02						
03						

【2】食物摂取状況調査（〇～〇ページ）の書き方

日曜日と祝日を除く、ふだんの食生活（宴会料理など特別な食事のない日）について、食べたり飲んだりしたものを、すべて記入ください。



【朝食】、【昼食①】、【昼食②】、【夕食】、【間食】と【予備】のページに分かれています。
【間食】には、朝食・昼食・夕食以外に食べたり飲んだりしたものを書いてください。
【昼食②】と【予備】は、記入欄が足りなくなった時に使用してください。

調査用紙の左半分のみご記入ください。右半分の記入は不要です。

【3】食事状況（1ページ）の書き方

朝	昼	夕

ご家族それぞれの食事について、下記の「1」～「9」から該当する番号を選んで記入ください。
「家庭食」と「調理済み食」を組み合わせて食べた場合は、メインのおかずの内容によって番号を選びます。
※おかずを食べていない場合は、主食（ごはん、パン、めんなど）の内容で選んでください。

1	家庭食 家で作った食事や弁当を食べた場合
2	調理済み食 すでに調理された惣菜などを買って来たり、出勤をとって家で食べた場合
3	外食 飲食店での食事及び家庭以外の場所で出勤をとったり市販のお弁当を買って食べるなど、家で調理せず、食べる場所も家でない場合
4	保育所・幼稚園給食、学校給食（教職員は職員給食「5」を記入）
5	職場給食（社員食堂を含む）
6	菓子・果物・乳製品・嗜好飲料などの食品のみ食べた場合
7	錠剤・カプセル・顆粒状のビタミン・ミネラル、栄養ドリンク剤のみの場合
8	何も口にできなかった場合（水のみ飲んだ場合も含む）
9	調査不能 （ご家族にどうしても聞くことができないなど、分からない場合に使用ください）

【4】身体状況（1ページ）の書き方（満 20 歳以上）

- ・1日の身体活動量（歩数）に、お渡した歩数計を1日間（朝起きてから寝るまで）つけて測定した歩数を記入ください。
- ・歩数計の装着状況について、「はい」「いいえ」のいずれかにレ印をつけてください。

身体状況	
1日の身体活動量（歩数） （20歳以上）	歩数計の装着状況（朝起きてから寝るまで、ほぼずっとつけていたか、 （入浴、水泳中などを除く）
	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ （いずれかに、レ印をつけて下さい）

食事摂取状況調査

料理名	食品名	使用量 (数量または 目安量と その単位)	廃棄量	その料理は、誰がどの割合で食べましたか？ （残した分があれば「廃棄量」に書いて下さい）									
				1 氏名 太郎	2 氏名 花子	3 氏名 三郎	4 氏名 四郎	5 氏名 五郎	6 氏名 六郎	7 氏名 七郎	8 氏名 八郎	9 氏名 九郎	残 食分
② はん	ごはん(精白米)	200g		0	1	0							
	ごはん(精白米)	200g		0	1	0							
	ごはん(精白米)	100g		0	0	1							
納豆	糸ひき納豆	2パック(100g)		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	タレ	6g		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
じゃがいもの味噌汁	じゃがいも(生)	180g		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	玉ねぎ(生)	100g		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	乾燥わかめ	2g		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	厚揚げ(凍結)	小さじ1		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	煮みそ	大きじ3		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ししゃも焼き	子持ちししゃも	10本	頭	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
オレンジジュース	オレンジジュース(果汁100%)	200ml		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
コーヒー	インスタントコーヒー(粉)	2g		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	お湯	140ml		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ビール	発泡酒(醸造酒)	150ml		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
給食 (〇〇中学〇年)	ごはん	1人分		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ポークカレー	1人分		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	・・・(以下、つづく)												
さつとうどん (外食)	さつとうどん (焼いて食べ、汁は半分飲み)	1人前		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

- 1ページ目の「世帯状況」欄の世帯員番号順に左からお名前をご記入ください。
- ご家族が食べた料理とその材量をご記入ください。
 - ◆『食品名』はできるだけ具体的に書いてください。
 - ・加熱した状態か生の状態か。
 - ・冷凍食品やアルコール飲料などはメーカーと商品名
 - ◆『使用量』は秤などで計った重量（g）を書いてください。
 - ・秤で計れない場合は、目安量（中1個、大1枚、小さじ1など）や食品のパッケージに表示された量を書いてください。
 - ◆『廃棄量』は、皮や芯など、食べなかった部分があれば、その重量(g)を書いてください。（廃棄部分を除いた可食部を計測した場合は、記入不要です。）
 - ・廃棄重量がわからなければ「頭と骨」「種」など名称を書いてください。
 - ・名称がわからない場合は「あり」とだけ書いてください。
 - ※外食、給食、惣菜等を食べた場合は、それと分かるように書いてください。
 - ・外食して「使用量」がわからない場合は、「〇人前」と書いてください。
 - ・外食の内容（料理名・食品名）についても、できるだけ具体的に書いてください。
- ご家族でだれがどの割合で料理を食べたかをご記入ください。
 - ◆『食べた割合』は、百分率で「40%：40%：20%」でも
 分数で「 $\frac{2}{5}$ ： $\frac{2}{5}$ ： $\frac{1}{5}$ 」でも、整数で「2：2：1」でも、
 どの書き方でもかまいません。
 1人ずつ食べた量がはっきりしているものは、グラム数や個数で記入ください（例：パン1枚）。

《残り物を食べた場合》

・朝食や昼食の残りや夕食や朝食など調査日のうちに食べた場合は、料理名の欄に朝食や昼食に記入した料理名と同じ料理名を記入し、「みそ汁(屋の残り)」などと書いて、その食べた割合を記入してください。
この場合、残っていた量を「100%」として、それぞれどのように分けたか、食べた割合を記入してください。
・前日までに作った料理を食べた場合には、料理名の欄に「料理名(昨日の残り)」などと記入し、料理に使用した食品名をすべて書いてうえて、料理全体の重量または目安量と食べた割合を記入してください。

書き忘れていませんか？

- ・料理の付け合わせ、小鉢もの
- ・サラダにかけたドレッシングなど
- ・トーストにつけたマーガリンなど
- ・飲み物に入れた砂糖など

食品の種類は何でしたか？

- ・肉（牛・豚・鶏、部位、脂身・皮の有無）
- ・焼き魚（生魚・塩蔵・干物など）
- ・ごはん（精白米・玄米・胚芽米・強化米など）
- ・油（なたね油・ごま油・オリーブ油など）
- ・牛乳（濃厚・普通・低脂肪）
- ・インスタント麺（フライ麺・ノンフライ麺）
- ・しょうゆ（濃口・うす口・減塩）
- ・マヨネーズ（普通・カロリーーフ） など

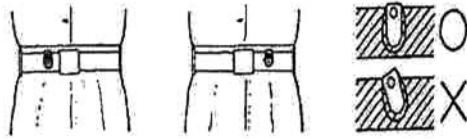
歩数測定方法

<歩数計各部の名称>



<装着上の注意>

- ・装着する前に操作スイッチを左 (RESET 方向) に押し、「00000」にセットしてください。
- ・装着は、朝起きてすぐにベルト (ベルトがない時はスラックスやスカートなど) にクリップをしっかりと装着してください。
- ・通常は操作スイッチを「WALK」にセットし、ジョギングやランニングをするときには「JOG」にセットしてください。終わったら「WALK」に戻してください。



<取扱い上の注意>

- ・ケース内は精密部品でできているので、落としたり、叩いたり強い衝撃を与えないでください。
- ・湿気の多い所や水がかかる所での使用や保存は避けてください。

(別表) 職業分類表

番号	職業分類項目	仕事の種類
所得 (賃金・給料、営業利益など) を伴う仕事についている方 (内職、アルバイト、パートを含む)		
01	専門的・技術的職業従事者	研究者、技術者、医師、歯科医師、獣医師、薬剤師、保健師、助産師、看護師、臨床・衛生検査技師、歯科衛生士、管理栄養士、栄養士、あんまマッサージ指圧師、はり師、きゅう師、柔道整復師、社会福祉専門職業従事者 (保育士など)、法務従事者 (裁判官、検察官、弁護士など)、公認会計士、税理士、教員、宗教家、著述家、記者、編集者、美術家、デザイナー、写真家、画家、映像撮影者、音楽家、舞台芸術家、その他の専門的・技術的職業従事者 (個人教師、職業スポーツ従事者など)
02	管理的職業従事者	管理的公務員 (国会議員、知事、市長など)、会社・団体等役員、会社・団体等管理職員 (工場長、支店長、職長、会社課長など)、その他の管理的職業従事者
03	事務従事者	一般事務従事者 (総務事務員、受付・案内事務員、秘書など)、会社事務従事者、外勤事務従事者 (集金人など)、運輸・通信事務従事者、その他の事務従事者 (速記者、タイピスト、キーバンチャー、電子計算機オペレーターなど)
04	販売従事者	商品販売従事者 (小売店主、飲食店主、販売店員、商品仕入外交員、商品仲介人など)、販売類似職業従事者 (不動産仲介人、保険外交員、質屋店主・店員など)
05	サービス職業従事者	家庭生活支援サービス職業従事者 (家政婦 (夫)、家事手伝い、訪問介護員 (ホームヘルパー) など)、生活衛生サービス職業従事者 (理容師、美容師、クリーニング職など)、飲食調理従事者、接客・給仕職業従事者、居住施設・ビル等管理人、その他のサービス職業従事者 (旅行・観光案内人、物品一時預かり人など)
06	保安職業従事者	自衛官、警察官、看守、消防員、警備員など
07	農業従事者	農耕、養蚕、植木職、造園師など
08	林業従事者	育林、伐木・造材、その他の林業従事者
09	漁業従事者	漁労作業、漁業・貝採取、漁船の船長・航海士・機関長・機関士、水産養殖など
10	運輸・機械運転従事者	自動車運転者、鉄道・船舶・航空機運転従事者、その他の運輸従事者 (車掌、鉄道輸送関連業務従事者、甲板員、船舶機関員、検車員など)
11	生産工程従事者	製造作業 (金属材料、化学製品、農業製品、土石製品、食料品、飲料・たばこ、衣服、繊維製品、木・竹・草・つる製品、パルプ・紙・紙製品、ゴム・プラスチック製品、革・革製品、その他)、組立・修理作業 (一般機械器具、電気機械器具、運送機械、計量計測機器・光学機械器具)、金属加工作業、金属溶接・溶断作業、紡績作業、印刷・製本作業、ボイラー工、建設機械運転作業、電気作業、掘削作業、とび職、鉄筋工、建設作業、土木作業従事者、運搬労働者、その他の労働者 (清掃員など)
上記 (01~11) の仕事をされていない方		
12	家事従事者	一般家庭の主婦等日常家事に従事することを常態としている人
13	その他	無職 (高齢・病気・障害などの理由による場合も含む)
14	保育園児	保育所へ通うことを常態としている幼児
15	幼稚園児	幼稚園へ通うことを常態としている幼児
16	その他の幼児	保育所や幼稚園に通っていない幼児
17	小学校低学年	小学1、2年生
18	小学校中学年	小学3、4年生
19	小学校高学年	小学5、6年生
20	中学生	中学1~3年生
21	その他の学生	高校生、大学生、大学院生、各種専門学校生など